

墨いろでつづる恋歌

# 源氏物語

関屋

(16)

水墨 国広節夫・書 国広富美子

行くと来とせきとめがたき涙をや絶えぬ清水と人は見るらむ 空蟬

源氏は、まだ年若い頃、人妻であった空蟬という女性に道ならぬ恋をしたことがありました。

空蟬は、たった一度のあやまちで深く傷つき、その後は源氏の恋をこばみつつけて、夫と共に常陸の国へと去っていったのですが、十年の歳月を経て、再び京へと帰って来ることになりました。

明日は逢坂の関を越えて京へ入るという前夜、大津あたりで一泊していたところへ、実は源氏も石山寺へ参詣のため、明日逢坂の関へ向かうことがわかりました。

源氏の行列のため、さぞ道が混むであろうというので、空蟬たちは曉方から急いで出発したのですが、途中でどうしても源氏の一行と出会うことになりました。やむなく、関所はずれの杉木立に車を引き入れて控えることにしました。

源氏は、何かしらゆかしい一行のいることを知り、それが空蟬たちであることを聞くと、早速昔の小君（源氏と空蟬の文使いをした若者）をお召しになって、空蟬へのことづてをされたのです。

空蟬は昔のことなど思い返されて、心はゆれ動きますが…。

この出会いのあとも、源氏は折りにふれ、空蟬への文を送りつつけます。源氏にとつて空蟬という女性は、恨めしいけれど恋しく忘れがたい人であったのです。

老齢であった空蟬の夫が亡くなり、いろいろ煩わしい出来ごとが重なったため、空蟬は尼になってしまわれました。

歌は、空蟬が逢坂の関で詠んだもので、自から秘めたため、わかつてもらえない源氏へのひそかな思いを嘆いたものです。

人々  
 清  
 下  
 浪  
 也

# 海船港 ふたいだけの風と海

「手づくりヨットで世界1周」

藤村恭子



▲航海中、舵をとる私

わたし、25歳。初婚。  
全長7.4メートルのちっぽけな  
「希望号」でトンデモナイ  
新婚旅行がはじまった。



▲上／バルマイラ島で、夕日  
の中アンカーリングする希望号。  
▲下／91・5・3・姫路東ルー  
テル教会で挙式すぐ出港（木場港）

ヨットで世界一周の新婚旅行へ行こうと、日本を出航して3年が過ぎた。このヨット「希望号」は夫、正人がゴツゴツと5年間をかけた手作りのものだ。

日本を出てからホノルルまで74日間もかかった。テレビや新聞など情報が入ってくることはなく、太平洋のまん中で「一体何をしていたのか」とよく聞かれる。船酔いで苦しんでいたことも確かだがおだやかな日は、何もすることがない。「月でも見ようか」となる。

子供の頃以来、こんなにゆっくり夜空を見上げることはなかったし都会の灯りで月の光など存在感をなくしてしまっていた。

「月ってこんなに明るかったんだなあ」と夫がつぶやく。静かに希望号が走っている横を夜光虫たちが、キラキラと波の音と共に消えていく。なんて神秘的なのだろう。自然の生き物である私自身が自然にどっぷりつかり、優雅な気分になっている。もう何日もお風呂に入っていないというのに。

何も情報源がないところでも、想像力と思考力で十分楽しむことが出来た。

出航して3週間目、日本のかつお漁船と出逢った。30名乗っていただろうか。「かつおをあげましょう」と言って下さったが、船と船が近付くと危険なので、そのご好意だけを受け取った。別れ際にその漁船のキャプテンが「貴船

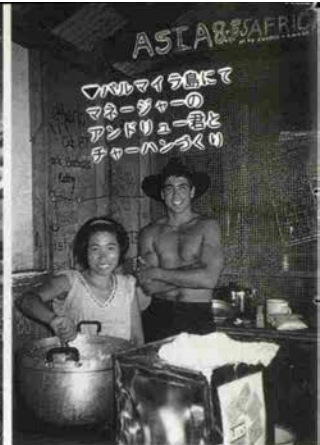




△クリスマス島  
シラテ氏家



△クリスマス島にて  
島の2人の女の子



¥1400円

◀豚の血を煮込んだ  
カレー。栄養がある  
といわれたが食べら  
れない。

◀長征社から本に！

のご安航をお祈りいたします。」と  
その声の力強さに、海の男たち  
のたくましさと、やさしさを感じ  
た。これがシーマンシップなんだ  
日本を出る前、練習航海で四国  
一周した時も、港の漁師さんたち  
は、天気の話、海の話など楽しく  
してくれるのだ。そして、エビや  
たこをデッキに放り込んでくれ、  
「あんたらどこまで行くんや、命  
落としたらあかんぞ」と見送って  
くれる。どんなに船酔いが苦しく  
ても、また海へと出航するのだ。  
私の妊娠がわかったのは、ファ  
ニング島という小さな南の島だっ  
た。看護婦さん一人だけが医療機  
関として居るだけだった。私のお

なかをちよつと触っただけで、「1  
ヶ月よ、おめでとう。」それからが  
悲惨だった。食べる物のロクにな  
く、体はみるみるやせてくるし、  
体中にできものがあちこちちらに  
出てきた。それから、クリスマス  
島へむけての航海中では、つわり  
と船酔いで、水も受け付けず、ど  
うとう吐血するハメになってしま  
ったのだ。そんな姿を見た夫は、「す  
まん、悪い。もう日本へ帰った方  
がいい。」とつぶやいた。

9月4日、無事女の子を出産し  
た。一時は十分育たないんじゃない  
かと心配したが、3800グラ  
ムもある元気な赤ちゃんだった。  
この出産で、陣痛って船酔いとよ  
く似ていると感じた。どんなに苦  
しくても、それを乗り越えた時、  
必ず喜びがあるのだ。

名前を「真衣」と名付けた。夫  
と無線で相談の上、今まで行った  
島の中で一番楽しく、水、魚、ヤ  
シの木の豊かな「パルマイラ島」  
よりとった。今はもう一才十ヶ月  
になり、すでにニュージーランド  
タイのブーケット島にて、お父さ  
んとあっている。

希望号は、難関のスエズ運河も  
無事にぬけ、現在、ギリシャのエ  
ーゲ海のあたりを順調に走ってい  
る。ちよつぱり、淋しく過ごして  
はいるが、今度はどこで再会しよ  
うかと、楽しみにしている。希望  
号の安航を祈りながら……。

# 嘉納千紗子の〈宇宙〉

7

GLASS ART nonnon流

## 歡

波の振り子が寄せ返す

砂浜は降り積もる

時間<sup>とき</sup>の残照

華やぐ声

波間に消えゆく

太古の鼓動がしのばれる

文月 蘭月 七夜月

歡天に身も心も灼きつくす

歡々<sup>カンカン</sup>月

Objekt

●  
ガラス、しんちゅう  
30cm×60cm×10cm





# The 25th. Anniversary



おかげで25歳の誕生日を  
迎えることができました。

吉田量子

Restaurant & Drink

## 薔薇屋

神戸市中央区北長狭通5丁目5-22

☎078(351)4311

## DINNER BUFFET

7/20<sup>W</sup>・8/31<sup>W</sup>

旬の素材をふんだんに盛り込んだ涼感たっぷりの多彩な料理をお好きなだけ。  
2周年記念の感謝を込めて、ポルトヴェルデがお届けします。

通常料金お一人様¥4,500のところ、  
月刊神戸っ子をご覧の上でご予約のお客様には、  
お一人様 **¥3,800** (税・サ別、3~10才は¥2,000)  
にてご利用いただけます。  
お電話でのご予約の際、「神戸っ子を見ました」と  
おっしゃって下さい。

### DINNER BUFFET MENU

にぎり寿司 温製ローストサーロインビーフ(コーナーカット) 帆立貝柱とマダロのカルパッチョ (イタリア風製法) マルゲリッタサーモン(上海風刺身) 生ハム フルーツ添え カツオと牛肉のタタキ ふかひれのスープ ウニ風味 椿々鶏(中国風唐揚げ コミソ添え) 什錦涼拌麺(五目海鮮) 和風前菜 小海老のカクテル スルメイカのマリネ タコとワカメの酢の物 冷し薄うどん ピッツェンバーズ(海老とクリームポタージュ) イカスのスマグレッティ 神戸牛の赤ワイン煮(ビーフシチュー)又は 醤油牛肉(牛肉のオスターソース煮) 糖醋排骨(スベリアの甘酢炒め) 乾焼魷魚(モンゴイカのチリソース煮)	旬の理鶏糸(岩瀬の広葉菜カレー炒め) 蝦仁炒飯(海老入り炒飯) 炊茶セロ蒸し(オゾン・シューマイなど) 親子盛り 山菜そば アメリカン クラブハウス サンドウィッチ シーズンサラダ フレッシュ フルーツ 自家製 お楽しみデザート各種 コーヒー・紅茶 <b>お子様メニュー</b> ハンバーガー トマトソース煮 スマグレッティ ポロネーズ 神戸コロッケ&海老フライ ビーフカレー&ドライカレー ソーセージ ブイヨン煮 <b>特別価格</b> グラスワイン ¥450(通常¥600) 生ビール ¥450(通常¥550)
--	---

ご利用時間/17:30~19:15 19:30~21:15

- 多人数様ご予約の場合、宴会場でのご利用となる場合がございます。
- 料理の内容が一部変更する場合がございます。

  
il PORTO VERDE

新イタリア料理 ポルトヴェルデ

ホテル グランドビスタ (ロビー階)

神戸市中央区加納町2丁目13-7

☎078-271-2111





# はじまりは、いつもこの街

—元町は今日、満120歳の誕生日を迎えます。未来のドラマがまたひとつ、この街から生まれます。—

神戸の、日本の元の町  
神戸港が1868年に開港され、明治初期に外国人達が次々と神戸へ降り立ちメリケン波止場は外交の舞台となる。活気にわいた西国街道沿いの神戸村、一つ茶屋村、走水村は、ひとつになり明治7年(1874)5月20日『元町』が生まれた。明治中期、元町にはレンガ造りのビルが次々と建ち、10メートルもの道が造られ、外国人向けの物産店や写真館、呉服店、雑貨店が

軒を並べる。横文字看板が並び、ハイカラ神戸の風がこの元町から吹き始めた。昭和初期『神戸行進曲』に「雨の元町すずらん灯」と歌われたモダンな商店街。元町を歩くこと事態がお洒落と、「元ブラ」という言葉が昭和12年から流行した。昭和20年の神戸大空襲で焼け野原と化した町の中から、元町はいち早くジェラール・ルン造りの店並を再建し、復興を成し遂げた。その力が今平成6年、誕生20年を迎え新たなドラマを生み出してゆく。



絵 小磯 良平  
「明治時代のメリケン波止場」

元町通り百年頌  
詩・竹中 郁

奴が毛槍をうち振って  
挟み箱をそろえて  
「下にな」と大名が通った  
人力車に窮屈そうにのって  
青い目の異人がぞろぞろ  
あちこちの店先へ梶棒をおろさせた  
英語やフランス語で応対した主人番頭  
荷作りにいそがしかった丁稚手代  
自転車を通行止めたのはいつか  
スズラン灯が建てられたのはいつか  
元町通り西の入口には理髪館  
東の入口には搭のついた三階建のネル屋  
百年を経た今か思うと  
そんなことはいかにも貧しく  
いかにもとるに足りないことだった  
今は今日を生きる元町通り  
今日は今日をくり出してゆく元町通り  
その梢弓なりのしなやかな町すじは  
百年前と変わりはないうねりだが  
中に脈うつ力は 大きくちがってきいているのだ

健康に美しく

かかりつけ薬局を目指す!!

保険調剤(煎薬処方せんも受付)  
医薬品・漢方薬

創業明治15年



西村蘭更堂薬局

〒650 神戸市中央区元町通1-8-15(元町1番街丸善北へ入る)  
TEL 078-331-0833 FAX 078-331-0960



創業明治六年

亀井堂總本店

神戸・元町六丁目 (078)351-0001代



金柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693





# いま、はじまりのとき 元町へのメッセージ

老舗の誇りと自信で  
元町の未来への努力を



佐藤 廉  
(元町画廊)

神戸の街には、地図を片手の観光客があふれている。異人館、三の宮センター街、サンチカ、南京町と、若者が集まり、神戸はどんどん栄えてきた。しかし、それに反して、元町ならではの老舗の文化は忘れ去られつつある。戦前は「元ブラ」といって、文化人たちは皆元町を起点に神戸散策をしたものだ。買ってもらって「はいさよなら」ではなく、語り合える街としての元町がそんざいしていた。

幼年期から知っている元町



石阪 春生  
(洋画家)

神戸に生まれた私は  
幼年期から  
変貌してきた  
元町を  
知っている

老舗の並ぶこの街  
旧いこと  
新しいこと  
それぞれの価値の中で  
人々を楽しませながら  
より魅力的な街として  
その未来に向って  
はなやかに  
歩きつづけてほしい

今では、そんな元町の特徴もうすくなり、若い人へのみこまれるように他の場所と混合しつつある。神戸の代表的な、大人のショッピング街として、現代人にアピールし、発展していく方法はないものか。温古知新。他と協調しながらも、老舗の誇りと自信で、未来へ努力を重ねていくつもりだ。たとえ買物をしなくても、目で楽しめる街、老舗の並ぶ伝統的な元町のよさを、一人でも多くの人に長く知ってもらいたいと思う。

元町の守り神 走水神社

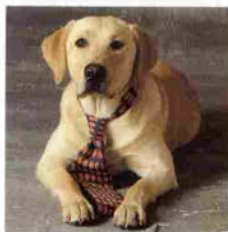


六車 勝昭  
(走水神社宮司)

明治七年に、旧神戸村、二ツ茶屋村、走水村が区域整理され、元町、栄町、海岸通り又は北長狭通りと、町名が改められました。その中で、走水神社だけが、「走水」の名を現代にひきついでています。毎年、夏には天神祭が催され、筆供養祭、子供神輿等で盛り上がりますが、それ以外に、元町商店街の集会や朝市などにも、利用されてきました。ほととでできる場所、静かな空間として、貴重な存在なんだでしょう。

百二十年をきつかけに、老舗の並ぶ街としての特徴を生かし、又あらたな元町を築いていってもらいたのですが、たとえ街がどんな様変わりしても、代々変わらないう、変わっては困るのが、神社と

☆本格派の人々に愛される



Motomachi Bazaar

神戸市中央区元町通1丁目1-6-12 ☎331-1401-7031

選りすぐった一点を……。



本店 神戸市中央区元町通2-5-7  
Tel 078-331-4707

ヌーベルサノヘ Tel 078-321-1710



オートマチュール  
ラモード

神戸市中央区  
元町通1丁目  
7-2  
☎331-5689

## 歴史と文化を大切に 魅力ある街づくりを！



竹山 清明  
《松陰女子学院短期  
大学助教授》

元町一二〇年を迎えるにあたっての思い出といえば、'82年頃の馬券売場設置反対の市民運動ですね。元町の環境を守ろうと、海文堂の島田さんらと共に頑張りました。あのときは商店街と市民が一緒になって盛り上がりましたね。

その後は二回マスタープランを出したりしましたが、実現には至っていません。なかなか商店街全体がまとまりにくいんですね。

新しくハーバーランドが出来て人通りは増えましたが、元町自体の盛り上がりはどうでしょうか。商店主のかたがたも色んな考えがあって大変でしょうが、腰を据

## 大好きな元町で

## コメディ・ド・フーゲツを 公演できて幸せでした



小倉 啓子  
《女優 劇団神戸》

記憶に残る元町での一番古い思い出は、5丁目の本屋宝文館へ教科書を買ったことです。山手女子学園に通ったこと。山の手で、その時はただ地図を握りしめ駅からの道を迷わずに歩くことだけで精一杯でした。お店の奥の方から新しい印刷の匂いがしたことを、今でもよく覚えています。あれから、20年以上経っています。

いうものです。

今後も、元町唯一の神社、元町の守り神として、その役割を果たしていきたいと思います。



えて街づくりに取り組んでいくことが大切なんじゃないでしょうか。新しいものにはない歴史や文化を強調して、頑張っていたきたいと思っています。

それと、元町は夜と飲食関係が弱いようです。街としての魅力を増すためには、それをどう改善していくかということも課題ですね。  
(談)

しょうか。風月堂の地下にあるコメディ・ド・フーゲツでの定期的な公演も先日45回目です。無事にファイナルを迎えることが出来ました。人生のほとんどもを元町で過ごし、ご縁が深いなあと感じています。元町商店街をゆつくりと歩き、買い物をするのは、この上ない楽しみです。お店の方々は皆親切で、あたたく、家族的なふれあいをもつことが出来ます。元町ならその魅力ですね。仕事帰りに寄りたいので、本当はもう少し閉店時間が遅いと嬉しいけれど、ぜいたくな望みかな。とにかく私は、元町が大好きです。

## いま、はじまりのとき

## 元町へのメッセージ

## 日本はアメリカズカップに必ず勝つ！ ～講演会と記録ビデオ～

松原 仁(ニッポン・チャレンジ事務局)

7月23日(土) 10:00～15:30

神戸市立まちづくり会館(元町4丁目)

## アメリカズカップ写真展

新しい挑戦艇のモデルも展示

7月20日～8月3日

海文堂書店2Fコーナー

## 海文堂書店・海文堂ギャラリー

〒650 神戸市中央区元町通3-5-10 ☎331-6501・2467



## 末積製額

神戸市中央区三宮町3-2-2 ☎331-1309・6234



San Sakae  
So-You Tsuji Co., Ltd.

本店 元町通2-1-9 331-5121(代)  
レディース 元町通1-10-3 331-7885

はじまりは いつもこの街

(元町120年のテーマ)

作詞・作曲・歌唱 大石欣則

はじまりは いつもこの街  
生まれてから 100と20  
はじまりは いつも元町  
道行く 顔ぶれ変わっても  
「古くて新しい。」のは  
あの頃のままだ...

はじまりは いつもこの街  
数え切れない 季節を越え  
はじまりは いつも元町  
時代の流れを 感じても  
「古くて新しい。」のは  
あの頃のままだ...

この街 元町  
生まれてから 100と20  
この街 元町  
生まれてから 100と20



大石 欣則

ロックバンド「東ユー  
スケとザ・Gサウンズ」  
で多方面に活躍中。ブ  
ロボクサー・浅川誠二の  
応援歌を作曲。芦屋市  
在住。

# はじまりは、いつもこの街

—元町は今日、満120歳の誕生日を迎えます。未来のドラマがまたひとつ、この街から生まれます。—



海岸線計画が進む  
中量規模地下鉄

新しい扉を開く  
ちやうど10年前「元町ル  
ネッサンス運動」を展開し、  
古き良き時代を懐かしむだけ  
の街を脱皮しつつある街。  
アーケードや舗道が改修さ  
れ界隈も緑道となり、ホー  
ルやギャラリーも増え、ま  
た海岸線地下鉄構想も進ん  
でいる中、元ブラ族は日ご  
とに増えている。  
かつて、外国の文化を日  
本全国へ発信する基地であ  
ったように、平成6年の今、  
世界中の人や文化に出会  
い、音楽や絵画やドラマや  
料理を楽しむ。ここで暮ら  
し、働き、生きている喜び  
が実感できる街。そこに、  
笑顔で触れ合い、おもてな  
しのある店がある。そんな  
街をめざし、元町は新しい  
扉を開く。

## 記念行事予定

- 7月26日  
120年記念式典(まちづくり会館)  
元町夜市(元町全域)
- 7月上旬・中旬  
おもしろ市(5丁目)
- 8月中  
ジャンボくじ(4丁目)
- 8月20日  
国際盆踊り大会(大丸前)
- 8月25・30日  
写真展「元町の魅力」  
(デュオギャラリー)
- 9月  
関空オーブン協賛セール(4丁目)
- 9月上旬  
「元町の芸術家たち」  
(まちづくり会館)
- 10月中旬  
「現代音楽と遊ぼう」 井上郁子  
(サロンド・ゴッフル)
- 11月上旬  
大茶会(一番街)
- 12月  
クリスマスセール(元町全域)
- 95・1・2月  
春節祭(元町全域)
- 4月  
アーケード完成2周年セール  
(4丁目)
- 4月29日・5月5日  
元町児童絵画コンクール  
(5丁目)
- ゴールデンウィークイベント  
(元町全域)

## ～元町ルネッサンス～

南には世界へ広がる神戸港

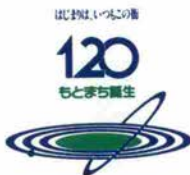
北には緑香る諏訪山、

東には旧居留地が異国情緒を漂わせ、

西には老舗が軒をつらねる商店街が広がる。

## ～そして未来へ～

120歳の誕生日を迎えた今日、元町は、さらに明日への一步を踏み出します。



## 元町商店街連合会

## 元町東地域協議会



# HON TAKASAGOYA

●「本」の字を大切にしています。●

湧き水のように……。



その名の通り、まるで水のように清々しく、きれいで澄んでいる。これが本高砂屋の水羊羹です。北海道は十勝の小豆でつくった濃し餡、丹波大納言が丸のまま生きている小倉、京都の宇治茶を漬いた抹茶の三色の味。甘さを少しおさえたおいしさ。冷やしていただければ、いっそうの清涼を楽しんでいただけます。



水羊羹

「本」の字を大切にしています。

本高砂屋



# '94 Bridal Fair

8/7 Sunday  
10:00 ~ 17:00

入場無料

様々な伝説を持つバラ  
それはその美しさで世紀を超えて  
語りつがれてきた花ゆえに許されます。

花言葉は——愛  
そしてホテルゴーフリッツでは  
結婚式である為の気品と風格を見つめなおし  
一つの伝説を築きあげるように  
セレモニーを演出いたします。  
テーマは——愛  
「ウェディングルネッサンス」

## 秋のブライダルフェア

### ご案内

- ブライダル予約コーナー  
お申込みから挙式までのお打合せ、ご婚礼に関する  
あらゆるご相談を承ります。
- 展示・相談コーナー  
結納品、衣裳、美容着付、引出物、引菓子、写真、ブーケ、  
装花、ビデオ、印刷、ハネムーン、披露宴料理などを展示、  
ご案内ご説明させていただきます。
- 試食会(予約制)  
ご披露宴各コースの料理をご用意し、特別料金にて  
お召し上がりいただけます。

10:00~17:00

昼の部 12:00~14:00  
夜の部 17:00~19:00



HOTEL GAUFRES RITZ  
ホテルゴーフリッツ

ご予約・お問い合わせ ☎(078)303-5555 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目1番  
ポートライナー市民広場駅下車 神戸商工会議所とツインビル

### ご来館のお願い

当日付近は、混雑が予想されますので  
ご来館につきましては、ポートライナー  
でお越し下さいますようお願い申し上げます。

### 電車でお越しになる場合

- 三宮からポートライナーをご利用下さい。
- ホテルゴーフリッツは「市民広場駅」  
下車北へ徒歩5分。  
三宮駅から約10分です。

